

平成 28 年（2016 年）9 月 7 日

学生・院生対象のプログラミングコンテスト「BIGCHA」を開催 「不満」や「不動産情報」など協賛企業提供のビッグデータを解析

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所（所長：喜連川 優、東京都千代田区）の先端ソフトウェア工学・国際研究センター（GRACEセンター、センター長：国立情報学研究所副所長 本位田 真一）は本年9月12日～16日の5日間、本研究所で大学生および大学院生を対象としたプログラミングコンテスト「BIG data programming CHallenge（BIGCHA）」を開催します。

「BIGCHA」はビッグデータの利活用で新しい価値を創出できる人材の育成を目指したコンテストです。参加者はデータを分散処理するオープンソースのソフトウェア基盤「Hadoop」を用いたビッグデータ解析技術についての講義を受けるので、アプリケーション開発に必要な知識を学ぶことができます。「BIGCHA」は大学間の交流を促すことも目的の一つとしており、所属大学が異なる学生・大学院生がチームを組んでアプリケーションの開発に挑戦します。本コンテストは文部科学省の教育プロジェクト「enPiT（エンピット）」^(*1)の「クラウドコンピューティング分野」の講義も兼ねています。

本コンテストの協賛企業は以下の通りです（五十音順）。

- ・ 株式会社アカリク
- ・ 株式会社SEプラス
- ・ 株式会社サイバーエージェント ※
- ・ 株式会社ディー・エヌ・エー*
- ・ 株式会社ドワンゴ ※
- ・ 株式会社ネクスト ※
- ・ 株式会社不満買取センター ※*
- ・ 株式会社リクルートテクノロジーズ ※
- ・ グーグル株式会社 *
- ・ クックパッド株式会社 ※
- ・ 日本マイクロソフト株式会社
- ・ ヤフー株式会社 ※*
- ・ 楽天株式会社 ※

このうち、※印の8社からデータをご提供いただく予定です。これにより、参加者は日ごろ閲覧できないような幅広い分野のリアルなビッグデータを解析することができます。また、*印の4社からは最前線で活躍するエンジニアが講師や審査員として参加し、参加者の技術的課題の解決を手助けしたり、現場の運用の実際を解説したりします（各社の協賛内容は今後変更になる可能性があります）。

今回提供されるデータは、株式会社サイバーエージェントのものを除き、各社から本研究所のデータセット共同利用研究開発センターに提供され、同センターの「情報学研究データリポジトリ (IDR)」を通じて研究コミュニティに無償提供^(*2) されているものです。本研究所では昨年度から同センターを設置することで、研究コミュニティへのビッグデータの提供をさらに強化するとともに、大規模な実データと最先端情報技術を活用したデータサイエンス研究の加速に取り組んでいます。この中で最新となる「不満調査データセット」は、今年5月の提供開始から3カ月で既に20近い研究機関から利用の申し込みがあるなど高い関心を集めています。また、不動産賃貸物件情報の「HOME'S データセット」も、本コンテストに初めて提供されるデータセットです（ともに、特定の企業や個人につながる情報や投稿者を特定できるような個人情報、両サービス利用者の利用履歴などの情報は含んでいません）。

参加申し込みは9月9日まで、本コンテストの公式サイト (<http://bigcha.net/index.html>) で受け付けています。

〈メディアの皆様からのお問い合わせ先〉

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
総務部企画課 広報チーム
TEL:03-4212-2164 FAX:03-4212-2150
E-mail : media@nii.ac.jp

以上

(*1) enPiT: 「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク (Education Network for Practical Information Technologies)」 (<http://www.enpit.jp/index.html>)。文部科学省の「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」に選定。「クラウドアプリケーション開発演習」を受講する東京大学と東京工業大学の学生は単位認定。

(*2) 「研究コミュニティに無償提供」: 各企業から国立情報学研究所データセット共同利用研究開発センターに提供され、IDR を通じて研究コミュニティに無償提供されているデータセットの詳細については、国立情報学研究所公式サイト of IDR のページ (<http://www.nii.ac.jp/dsc/idr/>) 参照。